

「健康食品」への医療関係者の関与のあり方について（検討材料）

1 「健康食品」問題における医療関係者の役割

この図は、調査の結果、医療関係者の一部が積極的に実施していることが判明した事項を受けて作成した。図には、医療関係者から、今後必要な取組としてあげられた事項も参考に加えてある。

安全な利用のアドバイス

利用を希望する患者・消費者に対する、安全な使用のサポート

- ・ 安全な利用に配慮できるよう、患者・消費者の「健康食品」利用状況を把握する。
- ・ 患者の健康に悪影響が懸念される場合には、利用の中止や利用方法の変更などをアドバイスする。
- ・ 患者・消費者からの質問や疑問に対し、誤解や不安の解消につながるよう対応する。

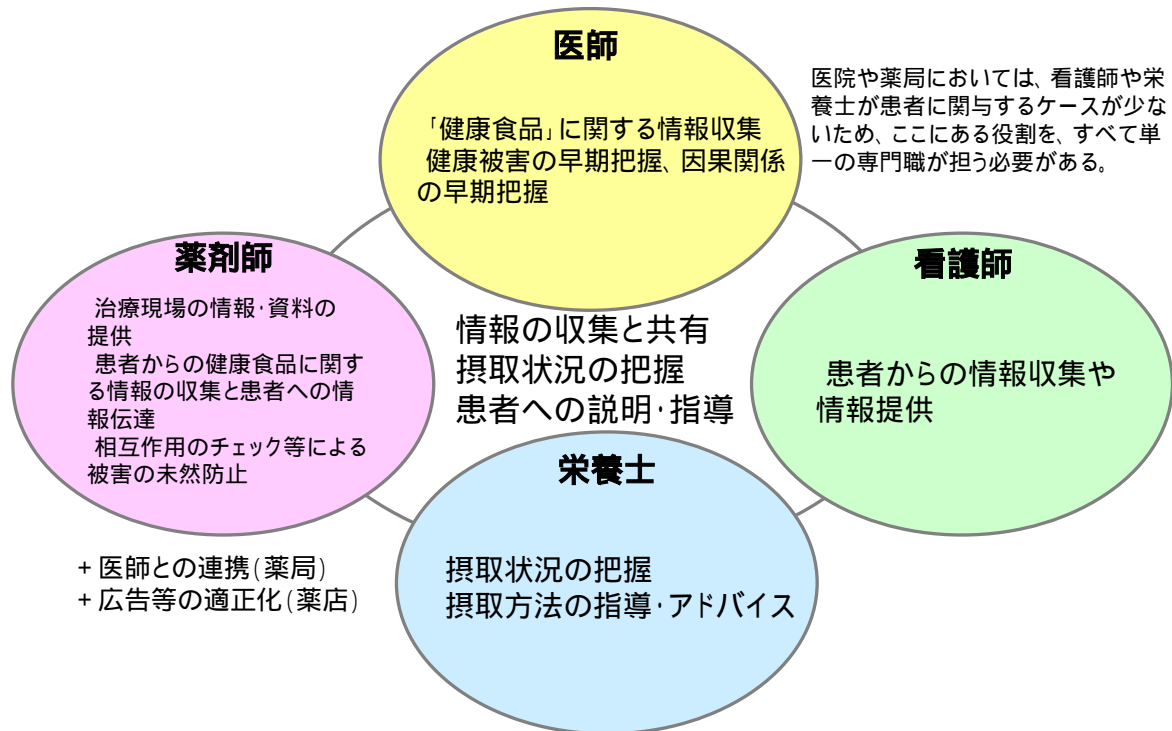
被害の拡大防止

「健康食品」による健康被害の把握

- ・ 「健康食品」の利用と関連が疑われる症例の把握
- ・ 医療関係者間での経験データの共有と活用

2 各医療専門職の役割

この図は、調査で各医療専門職に期待する役割に関して得られた自由意見の中で、各医療専門職に対し記載が多くあった意見を集約して、模式化したものである。



3 医療関係者の情報ニーズへの対応

- (1) 調査において、患者からの質問が多い事項についてたずねたところ、次のような意見が多かった。

「健康食品」と医薬品との飲み合わせ・副作用に関して
「健康食品」の服用の可否（飲んでもよいか）
「健康食品」の効果・有効性について

- (2) 調査において、今後の取り組みとして必要性が高いものについて選択式の質問を行った結果、次の事項について、必要とする意見が多かった。

「健康食品」に使われている成分についての客観的な情報データベース
医薬品等との相互作用データベース
個々の製品についての、成分などの詳細な情報の開示

- (3) 調査において、患者に聞かれて困ったことは何か、自由記載の回答を求めたところ、次のような意見が多かった。

「健康食品」の成分などの内容が不明
「健康食品」に関するデータが確認できない
「健康食品」の効果・有効性に関する根拠ある情報が確認できない
「健康食品」の医薬品との飲み合わせ・副作用に関する情報が不足している。

(4) 現在、整備が進められている情報データベース

国立健康・栄養研究所健康食品安全情報データベース
素材の安全性・有効性情報（現在 240 程度）
城西大学食薬相互作用文献データベース
相互作用に関する文献要約
あるたな（北海道大学）
商品毎の成分データベース
東京農業大学機能性食品データベース
素材に含まれる機能性成分に関するデータベース